夢叶・House
(ゆめかなハウス) お目見えです！

実は2021年11月末にお引き渡しが終わっていた新築住宅【夢・叶House】やっとお披露目することが出来ました！その訳は、塗壁をご自分たちで仕上げたことだったのです。

設計段階から省スペースの活用にかなり時間をかけ工期がかなり短くなりましたが、こだわりの宍粟の国産「木」をみせるためにLDはあらわし天井、外部の一階庇をスプルースの一枚板、玄関横の独立柱の「木」の部分を見せて存在感にこだわりました。

つむぎ建築舎
担当紡ぎ手
姫井　一也

こぢんまりとした小さなお家に入ると玄関から長い土間が続きます。奥に進むと昔の家のような高い小上がりからリビングに上がることが出来「いつかお店を始めたい」という夢を実現させるための間取りです。土間からリビングまでの一体感は自然光や風を通すのに大きな役割を果たし、ご自身で塗り上げた味わいある白い塗壁が印象的。2階は寝室と、ヨガ教室が出来るように工夫された大きな部屋で、将来的には子供部屋に区切ることも出来るようになっています。断熱性が良く、冬暖かく夏涼しいのも大きな魅力です。

高橋剛志の【中卒校長への道】

すすめ!! Go for your goal.

若者に新たな選択肢とモノづくり産業に未来を vol.2

課題解決に立ちはだかる壁をぶっ壊せ!

2022年5月19日 三宮の神戸国際会館会議室にて、この連載のテーマである学校プロジェクトの事業構想を発表する高橋のプレゼンテーションに参加してきました。様々な業種の経営者が所属しておられる団体「経営実践研究会」での発表でしたので、人数以上に熱量の高い会場でした。この日ご来場されている方々は、以前よりこのプロジェクトをご存知の方や関わっている方がほとんどで、多くの方が理解者でしたので情報共有がスムーズに出来ていました。職人（大工に限らず）不足、学歴社会から外れた若者の現状、経営者側の雇用制度の在り方など、幅広い視点からアプローチされているのが印象的でした。自社での蓄積した知見を基にしているとはいえドロップアウトした若者をどれだけ職人という職業に導き、持続する事が出来るか等の課題も感じました。

取材担当
つない堂 尾上

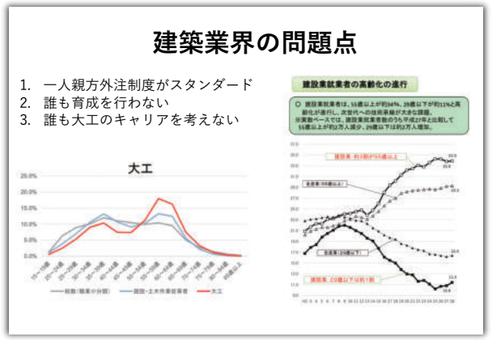
先日、私がかねてから進めている、**志×技能×未来** をテーマにした新しいキャリア高等学校プロジェクトの事業構想のプレゼンテーションを他業種の経営者が集まる場で行いました。40名を越す方々にお集まり頂き、私が解決を目指す、学歴マイノリティにチャンスが無いこと、建設・建築業界の圧倒的な職人不足の2つの社会課題解決についての事業提案に耳を傾けて頂きました。

根本的解決へのアプローチ

課題や問題に向き合い、解決を図る際に大事なことは、表面的な対処のみに終わらずに根本的な解決が果たせる様に問題を発生させている本当の原因を突き止め、そこに焦点を合わせる事だと思っています。**学歴社会からドロップアウトした若者にチャンスがない社会**、そして**建築業界の圧倒的な若手不足**、職人がいなくなり日本のインフラが機能不全に陥るという2つの社会課題は根本的には同じ原因が深く関わっています。それは昔から学歴社会に適応する以外の才能を発揮する場としての受け皿になっていた建築業界の事業者の劣化、意識の低さだと思っています。

ほぼ100%の人が感じ、無視する問題

私は建築業界の会合で話す際いつも「建築業界の課題はなんですか？」と訊くようにしています。98%の人が「若手不足」「職人不足」だと口にされます。そして、年齢、性別の差なく皆が共通の問題意識として持っている若手職人の人材育成、採用の不備・不全に対して課題解決に取り組まれる会社はほとんど皆無といっても過言ではなく、実質放置されているのが現状です。

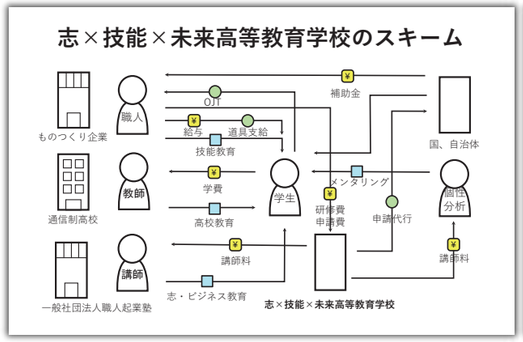


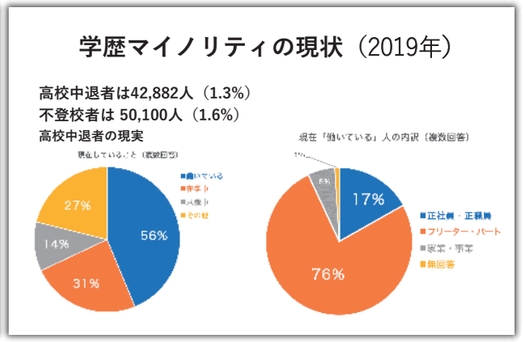
その最大の理由は**建築事業者の「在り方」**だと思っています。大多数の事業所は収益を上げられないどころか、多大な投資となる若手職人の育成に対して取り組むことを避けて、誰かが育ててくれた職人を効率よく道具のように使えることを目指されます。結局、**今だけ、金だけ、自分だけ** 思考に陥ってしまっているのです。

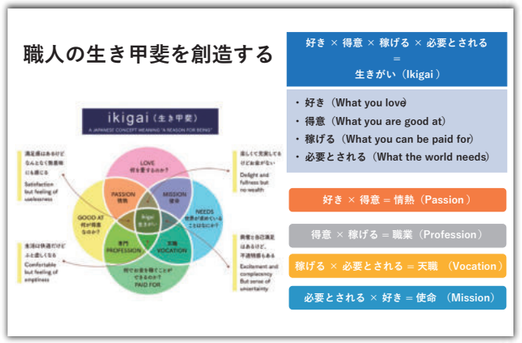
ヒューマン・インフラが業界を変える

そんな経験を踏まえて、今回のプロジェクトは経営者に対する学びの場もスキームの中に組み込みました。**今だけ、金だけ、自分だけ**の思考を捨てて、多くの経営者に未来への生きがいを与える思考をもってもらうには、継続的かつ深い学びと実践の場が必要であり、そのような思考が構造化されて事業所の運営に実装されるところまで丁寧にサポートする必要があると考えています。建築業界だけの価値観に囚われることなく、社会全体から見て良い会社だと認められるようにならなくては職業選択の自由を持った若者に選んでもらうことは出来ないのは自明の理、私だけの力で出来なかった経営者の意識改革を各業界で活躍する方々の力を借りて成し遂げることこそ、課題解決の前に立ちはだかる大きな壁をぶっ壊す事につながると思っています。新しく整備されつつあるヒューマンインフラを活用して、今度こそ建設業界の根本的な問題・課題解決へと進みたいと思っています。

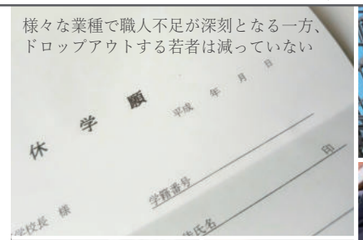
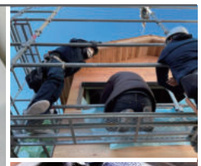
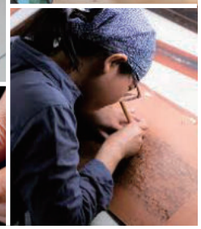
高橋 剛志　拝







経営者の意識変容

この度、私が立ち上げる新しいキャリア高等学校プロジェクトでは、若者と建築事業者の両方に価値を提供するスキームを組み立てています。問題の根本を変えるのは「どのようにやるか」のやり方ではなく『**なんのためにやるか？**』の在り方です。建築業界の常識をひっくり返し、経営者の意識を変えなければ、これまで行われなかった職人の正規雇用、労働基準法の遵守、若者に魅力を感じてもらえるキャリアプランの構築など出来るはずもありません。私はこれまで、職人起業塾で啓蒙活動を行い、多くの若者に対して意識変容を生み出してきましたが、その取り組みがスケールすることなく限られたコミュニティー内での活動に終始してしまっているのは経営者に対する私のアプローチが弱かったからに他なりません。

様々な業種で職人不足が深刻となる一方、ドロップアウトする若者は減っていない